平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名　株式会社 ヤマックス　　上場取引所　大
コード番号　5285　URL　http://www.yamax.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 茂森　潔
問合せ先責任者　(役職名) 管理本部副本部長　(氏名) 長岡　純生　TEL 096-381-5871
四半期報告書提出予定日　平成23年8月12日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,796	△19.6	△202	—	△235	—	△240	—
23年3月期第1四半期	2,235	△24.4	△19	—	△55	—	△59	—

(注) 包括利益　24年3月期第1四半期　△244百万円　(—%)　23年3月期第1四半期　△71百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△29.32	—
23年3月期第1四半期	△7.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	10,780	2,340	21.7
23年3月期	11,831	2,626	22.2

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　2,340百万円　23年3月期　2,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—				
24年3月期 (予想)		0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,500	△3.6	△180	—	△240	—	△250	—	△30.53
通期	12,700	7.7	320	35.5	200	109.2	80	152.1	9.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（その他）に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	11,580,000 株	23年3月期	11,580,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	3,390,737 株	23年3月期	3,390,737 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	8,189,263 株	23年3月期1Q	8,190,243 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、平成23年３月11日に発生した東日本大震災により、生産活動の停滞や物流機能の低下のほか、原発事故に伴う風評被害や電力供給懸念の広がりを見せ、被災地のみならず国内全般に深刻な影響を及ぼすこととなり、不透明で予断を許さぬ状況にて推移しております。

当社グループを取り巻く経営環境におきましては、被災地の復旧・復興に向けて、公共事業投資が東北地方に集中するであろうとの予測に加え、それに対する国の方針の定まらない状況も相俟って、地方自治体においては公共事業投資への姿勢が消極的となっております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、最終年度を迎える「中期経営計画」に基づき、収益の確保を最優先とした事業展開を基本方針として、関東地区への受注活動の強化や大型コンクリート製品の普及推進を目的とした販売活動への注力、市況動向への迅速な対応などを継続し、また、限られた受注案件を取りこぼさないよう綿密な営業活動へも取り組んでおります。

この結果、当第１四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は17億９千６百万円（前年同期比19.6%減）となり、営業損益は２億２百万円の損失（前年同四半期は１千９百万円の損失）、経常損益は２億３千５百万円の損失（前年同四半期は５千５百万円の損失）、四半期純損益は２億４千万円の損失（前年同四半期は５千９百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①土木用セメント製品事業

東日本大震災に対する復旧・復興への国の方針が、被災後３ヶ月以上経過しても具体化せず、地方自治体もその動向を注視するあまり、公共事業投資への取り組みが消極的な動きとなっております。

このような状況の中、各地方自治体からの公共工事の発注は例年に比べて出遅れており、また、当第１四半期連結累計期間における大型案件向けの出荷も少ない状況にて推移いたしました。

この結果、売上高は10億３千５百万円（前年同期比25.8%減）、営業利益は３百万円（前年同期比95.5%減）となりました。

なお、当社グループの土木用セメント製品事業は、公共事業の発注と関連性があり、主として下半期（第３四半期連結会計期間及び第４四半期連結会計期間）に売上が集中するため、通常、第１四半期連結会計期間及び第２四半期連結会計期間の売上高は、他の四半期連結会計期間の売上高と比べて著しく低くなる傾向にあります。

②建築用セメント製品事業

民間建設投資は緩やかな回復基調にて推移しているものの、東日本大震災の影響により、幾分慎重さを増した市況感となっております。

このような状況の中、設計事務所及びゼネコンに対する設計営業活動の強化に努めるなど、受注残高の確保に繋げる営業活動に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は７億３千４百万円（前年同期比11.1%減）、営業損益は６千６百万円の損失（前年同四半期は営業利益１千８百万円）となりました。

③その他の事業

当第１四半期連結累計期間より、不動産関連事業を大幅に強化する方針でスタートしており、平成23年３月に立ち上げた自社ブランド「さらりの家」の販売促進や営業の増員による受注活動の強化に努め、また、サービス事業における「エバメール化粧品」を主力とした化粧品・健康補助食品の販売にも注力いたしました。

この結果、売上高は２千６百万円（前年同期比87.9%増）となりましたが、営業損益は２千７百万円の損失（前年同四半期は８百万円の損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ10億５千万円減少の107億８千万円となりました。これは主に、売上債権の回収などにより受取手形及び売掛金が12億６千７百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ７億６千４百万円減少の84億４千万円となりました。これは主に、支払手形の決済や仕入債務の支払いなどにより支払手形及び買掛金が６億２千１百万円減少したことや、借入金の返済により短期借入金及び長期借入金が１億２千万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ２億８千５百万円減少の23億４千万円となりました。これは主に、剰余金の配当及び四半期純損失により利益剰余金が２億８千１百万円減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間までの業績は予定通り推移しており、平成23年５月13日付の「平成23年３月期　決算短信」にて発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、当社グループの土木用セメント製品事業は、公共事業の発注と関連性があり、主として下半期（第３四半期連結会計期間及び第４四半期連結会計期間）に売上が集中するため、通常、第１四半期連結会計期間及び第２四半期連結会計期間の売上高は、他の四半期連結会計期間の売上高と比べて著しく低くなる傾向にあり、今後も同様の理由により季節的変動が予想されることから、業績を判断する際には留意する必要があります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（原価差異の繰延処理）

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成23年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	306,768	271,638
受取手形及び売掛金	3,554,391	2,286,780
商品及び製品	1,552,441	1,787,996
未成工事支出金	6,104	389
原材料及び貯蔵品	237,469	223,997
その他	98,174	125,715
貸倒引当金	△22,344	△14,879
流動資産合計	5,733,004	4,681,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,290,107	1,273,609
土地	3,143,221	3,178,971
その他（純額）	788,503	792,319
有形固定資産合計	5,221,832	5,244,901
無形固定資産	128,852	127,262
投資その他の資産		
その他	930,665	907,858
貸倒引当金	△182,882	△180,958
投資その他の資産合計	747,783	726,900
固定資産合計	6,098,468	6,099,063
資産合計	11,831,472	10,780,700
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,917,853	2,296,533
短期借入金	2,479,455	2,439,454
未払法人税等	85,311	10,601
賞与引当金	27,465	56,490
受注損失引当金	8,327	16,402
その他	267,163	269,897
流動負債合計	5,785,577	5,089,379
固定負債		
長期借入金	2,817,283	2,736,306
退職給付引当金	535,257	541,525
役員退職慰労引当金	32,483	37,383
その他	34,403	35,436
固定負債合計	3,419,428	3,350,650
負債合計	9,205,005	8,440,030

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成23年６月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,752,040	1,752,040
資本剰余金	492,286	492,286
利益剰余金	884,543	603,455
自己株式	△507,752	△507,752
株主資本合計	2,621,117	2,340,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,349	639
その他の包括利益累計額合計	5,349	639
純資産合計	2,626,467	2,340,669
負債純資産合計	11,831,472	10,780,700

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日)
売上高	2,235,474	1,796,879
売上原価	1,704,676	1,464,090
売上総利益	530,798	332,789
販売費及び一般管理費	550,207	535,490
営業損失（△）	△19,408	△202,701
営業外収益		
受取利息	414	413
受取配当金	1,843	3,062
受取賃貸料	7,309	7,225
貸倒引当金戻入額	2,795	9,388
持分法による投資利益	2,121	－
その他	1,836	2,549
営業外収益合計	16,321	22,639
営業外費用		
支払利息	46,991	33,987
手形売却損	980	2,147
持分法による投資損失	－	5,550
その他	4,258	13,939
営業外費用合計	52,230	55,625
経常損失（△）	△55,317	△235,688
税金等調整前四半期純損失（△）	△55,317	△235,688
法人税、住民税及び事業税	4,453	4,453
法人税等合計	4,453	4,453
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△59,770	△240,141
四半期純損失（△）	△59,770	△240,141

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△59,770	△240,141
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,232	△4,709
その他の包括利益合計	△11,232	△4,709
四半期包括利益	△71,003	△244,851
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△71,003	△244,851

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	土木用セメント製品	建築用セメント製品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,395,259	826,004	2,221,264	14,210	2,235,474	－	2,235,474
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	347	347	287	634	△634	－
計	1,395,259	826,351	2,221,611	14,498	2,236,109	△634	2,235,474
セグメント利益又はセグメント損失（△）	81,280	18,112	99,393	△8,368	91,024	△110,433	△19,408

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業及びサービス事業を含んでおります。
２．セグメント利益又はセグメント損失の調整額△110,433千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
３．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	土木用セメント製品	建築用セメント製品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,035,785	734,385	1,770,170	26,708	1,796,879	－	1,796,879
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	285	285	395	681	△681	－
計	1,035,785	734,671	1,770,456	27,104	1,797,560	△681	1,796,879
セグメント利益又はセグメント損失（△）	3,663	△66,936	△63,273	△27,999	△91,272	△111,428	△202,701

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業及びサービス事業を含んでおります。
２．セグメント利益又はセグメント損失の調整額△111,428千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
３．セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。